

# 幼稚園保育に於ける時局的反省の問題 (四)

— 講習筆記要領 —

倉 橋 惣 三

## 前號目次

- 一、時局對策としての保育事業
- 二、時局に保育の内面の反省
- 三、國民精神總動員の三標語
- 四、盡忠報國心の教育
- 五、國家心の實感
- 六、幼稚園に於ける個人主義の注意
- 七、堅忍持久

## 八、持久性の養成の實際

堅忍持久云ふ問題は、その事自身が大切なる事は申す迄もありませんが、その問題の本質が元來一人一人の子供の性格教育に關係のある事でありまして、國民の一人一人

の性格が堅忍持久的になつて行かなければこの實を擧げて行く事は出来ないであります。其處で性格に關する根本的問題として教育問題になつて参ります。外の事も勿論教育問題になりますけれど、盡忠報國、舉國一致云ふ事は後益々注意して行かなければなりません。然し日本人の必ずしも今から改めて養はなければならぬ云ふやうな問題ではありません。堅忍持久云ふ事は、これは日本人の本來の性格上の缺陷であるやうにも言はれて居るのでありますから、その意味に於きまして本當に教育的に心配しなければならぬ問題になる言へるのであります。更にその性格を堅忍持久的のものに致しますに就きましたは、或は小學校に於きましてその方針で教育をしなければなりません。中等教育に於きまして同様であります。が、その性格の根柢云ふ意味に於きまして幼年期の教育

問題として是が重要になつて来るのであります。その意味に於て今日の爲、今の爲には青年、又は大人の堅忍持久問題であります、これから先、永い國の問題としましては今我々が預つて居ります幼児、こゝから堅忍持久性の養成と云ふ事を目指して始終保育して行かなければならぬ。斯う云ふ事になる譯であります。

その堅忍持久性の教育に於て實際上さう云ふ點に就て氣をつけるか云ふ事に就ては、或は神經そのものゝ擁護でありますか、その他色々事を申上げて参りました。この事に就て私は必ずしも時局的反省と云ふのでなく不斷から幼児教育の重要な要件として茲に力點を置いて色々事を申上げて居るのであります、必ずしも唯今新しい問題になる譯ではありませんが、例へば皆さんにしてはお聴き古していらつしやるかも知れませぬ處の、或る目的をもつて保育を出發させて行く。此方から今日は是をなさいと云ふやうな課業的な保育でなくて、目的を元にして子供の生活を誘導して行く。是を誘導保育等と申して居ります、要するに或る目的を子供に持たして、或は子供の持つて居る目的を取上げてその目的の爲に色々な生活が子供自身の中に生れて来るやうにさせる。是が誘導保育であります。その時間、その日、その時先生から斯う云ふ事をしませうと云ふのでなくて、例へば今日は時計を造りませう、

ラヂオの道具を造りませうと云ふ斷片的な課題ではなく、或は家の中の場面が元になりまして、是は時計がなければならぬ、或はラヂオがなければならぬと段々誘導して行く、是を私は誘導保育と申して居ります。

其處でその事をまたこゝで繰返す迄もありませんが、この目的から出發する云ふ事は、目的から次の生活活動を誘導して行く云ふ意味の外に、目的が元にありますから自分達の生活を何時でもその元の目的に返して：：考へる迄もないにしても：：感するのであります。つまりそこに生活上の一貫したるものがある云ふ事になります。斷片的ではなくして一貫したる或る目的の爲に段々進んで行く或る目的の完成の道を辿りつゝある。是は或る子に於ては非常にはつきりして居りませう、或る子に於ては非常に漠然として居りませうが、兎に角其處にあるのです。幼児でありますから始終それを考へて一日一日に進んで行くものではありますまいが、先生が『段々お店の品物が殖えて來ますね』と云ふか『立派な店になりますね』と云ふ、ちよいと云つて下さる事は即ち子供を自分の生活の出發に置くのです。是等が極めて靜なる堅忍持久であります。堅忍持久と云ふ時局的言葉を保育のあんな處に持つて行きますのは、まるで鉛筆を削るのに大きな鉈を持つて來たやうな譯であります。すけれ共、然し堅忍持久と云ふ事は何もそんなに大袈裟な

事ばかりでなくして、一貫したる生活、生活の一貫性、さう云ふ事が問題になつて居るのであります。今日の問題になつて居るのであります。

長期抗戦、その時に要求されます堅忍持久はどんな困難があつても耐へて行く、何時迄戦争が続いても厭きないで行く云ふ丈けの話ではないと思ひます。何時でもそれを元に返して、この七月七日には事變の始まりました一週年の記念を致しましたが、その振り返る事、三年、五年、十年になりましても何時でも元に返す。元に返す云ふのは事件出發の元ではなく、日本が何故この事をして居るか云ふ意味：：子供が店を造つたり何かするのこは異つて難しいものでありませうが：：それを持たして行かなければならぬ。我々が堅忍持久性が乏しい云ふのは神経が弱くて意志が弱い云ふ丈けでなくして、初めの心、初めの志を失つてしまふ云ふ、其處にあるのだと思ふのであります。堅忍持久、さう始終力んで居る譯には行きませぬ。斯う云ふ習慣を養ふには矢張り始終さう云ふ傾向へ、さう云ふ傾向へさ進んで行かなければならぬ。或る人はこの注意散漫の傾向を訂正します爲に、例へば一つの玩具を永く使ふとか、一つの繪本を順序正しく靜に開けて見て行くとか、斯う云ふ事が非常に有效なる教育法であるを申しします。私共も、玩具を次から次へ厭きて投げ捨て、行く子供に

比べますならば、一つの玩具をちつき持ち續けて行く子供は神経の強い子だと思ひます。或は繪本をばらばらしないで順々に開けて終ひまで見て行く子は靜な根の續くだと思ひます。儘にさう云ふ子供があつたらば宜しいのであります。さうでない子供があつたらば憂ふべきであります。更にもつき突込んで言へば、一つの玩具を興へて何處まで靜にそれを使ふか云ふ事、一つの繪本を興へて何處までその本を見て行くか云ふ事はその子の堅忍持久性をテストする事になるのであります。然らば一つの玩具をさうして根氣よく永くく持たせるやうにする事が出来るだらうか云ふ實際問題。『お前はこの玩具を堅忍持久ごっこで遊べ』云ふ事はさうして行くか。繪本を靜にゆつくり見て行かせるにはさうしたら出来るか。茲が問題になつて來ると思ふのであります。皆さんはそれ／＼その方法をお探りになると思ひますが、さうしていらつしやるでせうか。或る方法を片付けてしまふ『お前は厭々性質であるが、天上天下この玩具一つしかないのである。散らうと言つても散る事が出来まい、いゝ氣味だ』位でその玩具を愛玩させるのであります。是も一つの方法ですが勿論澤山散らばつて置いたその中ではを愛玩しろ云ふ事は難しい注文であります。が、さう云ふ方法も宜いと言はれて居ります。或は散らば

つて居る本の中の一冊をぢッミ見ろミ云ふ事は難しい事でありませんが、一冊與へて決して新しく與へない事にする。

『本圖に於ては子供の注意散漫を防ぐ爲にキングダーブックも三年前のを一冊與へて新しいのを與へない事にする』云ふ御方針もあるでせう。(笑聲) けれ共、さうする事に依つて餘儀なく一つの事に集中する傾向がついて参りませうけれ共、多分眼に映る外のものが澤山出て來たならばがつ／＼としてその方へ行くであります。それでは本當に堅忍持久の内面的に據り處を作り得て居ることは申せないと思ふのであります。其處でまた皆様の中には斯う云ふ方法をお探りになる方があるかも知れない、一つの玩具を與へて是をいつ迄も使ふ子供は良い子供である。『ね、坊やは良い子だね、かるがゆゑに是をぢッミ使ふね』斯う云ふ指導を申しますか、三段論法的やり方。良い子は一つのを大事にする、是は何んの氣もなく子供は聽いて居ります。自分の事とも知らず人の事とも知らず聽いて居ります。(笑聲) 『貴君は良い子だね』云ふご自分の事でありませうから。『さうです』と言つてしまふ。『かるがゆゑに貴君は玩具を大事にするね』論理的陷穽に落されてしまふのであります。或る子供は第二番目の處、『貴君は良い子だね』と言はれても、『一寸待つてくれ』さうつかり其處の處を約束致しませぬ。其處の處を『貴君は本當に良い子ね』云ふ尻上り法に依つて子

供はうつかり領いてしまふ(笑聲) さう云ふやり方で訓戒道徳、さう云ふ一つの道徳法を云ふものもあります。或は又斯う云ふ方法をお探りになるお方もある。色々の玩具を散らして失くしたり毀したりしたら損である。使へるだけ使つて是が愈々駄目になつたら次のを使ふ。貴君は是をぎの位使ふ辛抱人だらうか。云ふ經濟法もあります。斯う云ふ事はみんな子供が本當に判る事だかさうだか私には疑ひを持つのであります。

或る人はまア何んミ云ふ事なく唯一つだけ與へて、さうして子供がもう外の方へ興味が移らないやうに閉鎖遮断してしまふ。唯一つにへばりついて居るやうにする。私は白痴院で屢々一つの玩具に堅忍持久的にへばりついて居る子供を見る事があるのであります。白痴は興味の擴張性も轉廻性もないものです。必ず一つの處に低徊して居るでせう。ですから一つのものを唯大切にする云ふ事になれば白痴が一番一つのものを大事にするのであります。其處で私は悉くさう云ふものを悪いさいふのはありませんが、もう少し一つの事を本當に繼續して行く單なる習慣の外に生活それ自身の習慣、單に同じ事を繰返す事に依つてそれが自分の型になつた云ふのも習慣であります。一つのものを何時でも大事にする以上、外のものに氣を轉じない云ふ型がつく云ふ事の外に、『私は何をするにしても初

めの出發點云ふ處に即して行くよ』云ふ生活習慣。是が大事かと思ふのであります。私はその時その時の氣まぐれで宵越しの考なんか持つた事がない』云ふやうな生活習慣のものもありますし。何事に就ても、一體是はさう云ふ譯で斯う云ふ事をして居るのだらうと自分で自分に問はずには居られない云ふ少し頑固になり執拗い事になりませうが、其處に自分の心が行かなければ落付かぬ云ふやうな生活習慣。或は何時までもちつて居る習慣、あれは型の習慣であります。獨りでに左側が歩ける云ふのも型の習慣、それではなくて生活そのものゝ動き方に就ての習慣、斯う云ふ意味に考へて來ました時に何んさかして子供が：：單純なる、たわいないやうな生活であらうとも：：自分はさう云ふ處からそれをして來たか、何故斯う云ふ事をして居るか云ふ事を：：そんなに嚴密ではありませぬが：：氣にかけて振返つて見る、其處に行きたいと思ふのであります。

堅忍持久云ふ事は唯一つ事をぢつと石の上にも何年坐つて居る云ふ機械的な意味ばかりではありませぬ。堅忍持久云ふ事は或る意味では徹頭徹尾我儘でない事でありませぬ。堅忍持久は徹頭徹尾我儘の反對であります。我儘に二種類あります。他人への我儘と、自己の志への我儘と二つあると思ひます。赤ん坊がお母さんに我儘を云ふ。幼

稚園の子供が先生に親しさの餘り我儘を云ふ。前の種類です。是は大したものではありませぬ。自分の志に對しての我儘、自分の初めの考に對しての我儘、大人にもあります。或る約束で一緒に歩いて居乍ら一寸した事で：：一寸した事云ふには理由があるのですが、：：その理由に基いて我儘を云ふ。外の人に對して我儘を云ふのでなくして自分の出發點に對して我儘を言つて居る。堅忍持久云ふ事は勿論神經の強さ云ふやうな事が元になつて居りますが、もう一步進んだ處ではさう云ふ内面的の意味をも考へなければならぬかと思ひます。其處でさう云ふ意味を御諒解下さるならば私共の常に主張して居ります目的から出發して行く保育、單なる時間的繼續性でなく、反省を繼續がくつ付いて居る本當の堅忍持久が其處に養はれて來るのではないかと思ひます。

この前に意志の問題は繼續性と反省である云ふ事を申しました。それを分けて申して參りましたが、それをこゝでは一つにした譯であります。勿論斯う申しますのは：：皆さん誤解があると思ひますが：：その子供としての生活の出發點であります。子供に『何故貴君は初めこの幼稚園に來たか、幼稚園に來た以上はちやんさしなければならぬ』云ふ生活全體の大きな出發點云ふやうな、覺悟云ふやうな事をお責めになる事がありますが、さう云ふ事を私

が申して居るのではありませぬ。その子が生活の中で始めた出發點であります。子供が自由遊びをして居ります間に皆さんは始終御覽になると思ひますが、堅忍持久性の乏しい子供は遊びで居ります。堅忍持久性のあります子供は別にさう云ふはつきり約束した譯ではありませぬが、その遊びの出發點を始終持つてそつちへそつちへ即して遊んで居る。堅忍持久性のない子供はその出發點を樂々捨てるしまつて居る。其處でその遊びの出發點を始終持つて居る金太郎は申しますか、堅太郎は申しますか、久太郎は申しますか、その子供が(笑聲)『駄目だよ、途中で止しては駄目だよ』この言葉は實に私共が敬意を表して聽く言葉であります。途中で止しては駄目だよ云ふその途中は云ふ事は出發點に返つて始めて生活の繼續性の中で言へる言葉であります。然も途中は云ふ言葉は人から斷片的に課せられた途中に於て本當の途中は云ふ感じが起りませうか。今日は兎に角何んでも宜いから黙つて私の言ふ事を聽いて時計を作らなさい』云ふので時計を作つた、その途中で止めた云ふその途中は時計を作る工程の途中でありまして、その人の生活としての途中ではありませぬ。私は一週間ばかり前に、大きな時計工場の話をお聞きしました。是は亞米利加邊りに幾らもあるのですが、東京でもさうであります。或は皆さんの持つていらつしやる尊き國産の時計はそ

の工場で出來たのかと思ひますが、其處は實に職工が自分の初めの計畫なしに働いて居る標本的の勞働工程を採つて居る處であります。朝八時に始まるので八時に職工が來まして何時迄働く云ふので働いて居りますが、其處では何をして居るか申します。或る職工は針ばかり磨いて居るのであります。或る職工は針金ばかり巻いて居るのであります。或る職工は齒車の出來て來る齒の間違ひだけを直して居るのであります。絶えずそれをやつて居るのであります。本當に機械的な生活をやつて居るのであります。其處から出て來る問題を色々云はう云ふのではありませぬ。さう云ふやり方でやつて居る職工に途中は云ふ事があるだらうか云ふのであります。何時に今日はお終ひ云ふのでサイレンが鳴りベルが鳴るを止めて歸つて行くのであります。途中は云ふ事のない證據であります。唯時間の間で終つた云ふ丈けで自己の生活の途中ではないのであります。途中は云ふ事は自分が或る出發點を持つて居て、その行方を臆氣ながらも、或ははつきり目指して居る時丈けに言へる言葉だと思ひます。私は時々子供達が一生涯命自分の或る考を元にして砂場の作業をやつて居るのを見ます。その時に先生が鐘を鳴らしたので、一人の子供はその時さらさらさつさつ砂をふるひ落して何時でもお召出しに應ずるの用意はあるのである云ふので、すうツミ

行く子供を、一寸待つて下さい、今途中なんだから待つてくれ云ふ子供も二つあると思ひます。茲の問題を保育全般形式としてはさう云ふ勝手な事を許さかさうか云ふ事を言つて居りますが、今日の茲では折角その子供が途中に云ふ觀念を持つて居る時に、その大事な時に、それを容易に妄に毀す事は考へなければならぬ問題ではないかと思ふのであります。斯う云ふ意味合ひで、子供が遊んで居る中に、始終自分の出發を終ひを持つて途中に云ふ感じを持つ我々が生活法則に基いて保育するに云ふ時に、果してそれだけの必然持久要件に云ふものを持たせるやうな保育法を採つて居るだらうか、さうだらうか、斯う云ふ事を考へなければならぬかと思ふのであります。私は保育原論として目的保育を主張するのでありますが、殊に時局に於て堅忍持久性の手段としても目的保育をもう一度新に主張したい氣がするのであります。

人生の始めの数ヶ年、楽しくはありけれ共、氣まぐれで終つたに云ふその子供の國民的將來に於て、決して堅忍持久性の基礎を與へられたものとは言ひ得られないかと思ふのであります。

辛抱に云ふ事は堅忍持久の平な言葉であります。その辛抱するに云ふ事に就きまして二つの意味に私は分解出来ると思ひます。一つは辛抱に云ふ事を極く原始的と言ひませ

うか簡單に云ひませうか、その極く簡單なる意味に於ける辛抱に云ふ事は、人間の生活力に云ふものは外へ出て行くのであります。是が或る抵抗を持つた時にその力は更に増して来るのであります。是が一つの法則であります。私が若しこの盆を押さうとしますと、この盆はすうと滑つて行くのであります。私はすうと押すだけであります。若し是が釘づけされて居りまして非常に重いものでありまして樂に是を私が動かす事が出来ない時、私の生活力は強く出て来るのであります。生活力は抵抗に應じて出て来るに云ふのが原則であります。その意味から辛抱に云ふ事を原始的單純な意味からして抵抗を與へられる事に依つて次から次へ増して行く力、斯う云ふ意味になるのであります。その抵抗を與へる事に依つて次から次へ出て行く力に云ふ事、是は精神的問題にしても、難しい問題に打當れば益々是を解かうとする力が出て来るに云ふ事もあります。先づフィヂカルの、物的的作用としてさう云ふ事が考へられる。その原則、法則のやうなものを利用して參ります。今日の幼稚園に於きまして子供に抵抗を與へられるやうな事が果してこの位あるだらうか、是が問題であります。今日の幼稚園は所謂子供の中から出て來ます自發的に云ふか、生命の發露を申しますか、その生活力の中に止めて置けなくて外に發散して行く方法は澤山あるので

あります。殊によりましたならばそれにリズムを添へて樂々々出て行くものが澤山あるのであります。今日の幼稚園の藝術に仕組まれた遊びはみんな樂々々滑かに拍子よく出て行く、さう云ふ行き方で出来て居ります。抵抗を増してもう一つ力を増して来るに云ふやうな事は今日の遊びには非常に少いと思ひます。田舎で育ちました、自然の色々な中で育ちました者は自らさう云ふ機會が澤山ありませう。

『君、一寸その根っこを持つて来てくれ』と言つても重いのではありません。何んの氣なしに抜かうにしても重いのではありません。其處に力が出るのであります。或はこの俵をころがして行かうよと言つてもその俵はひよいこころがして行かうにしても重いのではありません。抵抗を與へるのであります。其處であの小さい子供は顔を眞つ赤にして力んで押して行くのであります。或る抵抗を元にしてこつちの力を出して行く、さう云ふやうな事が今日の所謂都會生活の幼稚園に於ては少いのであります。是は多少私は考へなければならぬ事かと思ふのであります。

私は幼稚園でもう少し斯う云ふ事も加へて宜いかと思ひます。それでは家に歸つて一つこつ子を抜かせよう云ふことも出来ませぬでせうが、(笑聲)今の運動がすべて樂になされる。殊に先生のなさる遊戲のお手本を見て居るご、何んだか骨抜け尻抜け、ぶら／＼して居る。風鈴の

如きは實にちりん／＼して居る。(笑聲)さうしたりリズムに合はして居る歌は歌で宜いのでありますが、もう一つ手應へのあるこの要素を少し加へたら宜いかと思ひます。亞米利加では「車を挽かせよ、車を押させよ」云ふ事を幼稚園で申します。是は相當えんやらささ云ふ重さが抵抗になりまして力が出て来る、この要素を少し加へたら宜い、勿論餘程注意致しませぬ、抵抗を出し過ぎますと大變であります。家の澤庵石を置き變へようと思ふから持つて来ておくれ』と言つても是は落したら大變です。潰れてしまいが、少し重いさか自由にならぬさか云ふ生活行動を與へるに云ふ事も辛抱に云ふささう云ふ原始の意味にもなるのであります。山の中で勞働して居る人が「私はこの位の事は何んでもない、あの大きな岩を一ト月が／＼で動かした」斯う言つた經驗を語る事を我々は少し學ぶべきかと思ひます。辛抱のもう一つの意味は、目的に根を置いて：：是は根を抜くのではありませぬ：：然も自分の中に根をおろした故に容易に外へ轉ずる事を敢へてしない、一種の意地であります。あんなものは抜いてしまへ云ふので抜いてしまつたに云ふやうなものではない、目的は立てたがそのまゝ泥もかけずに置いたに云ふそんなものでもない、人が植えたのなら一寸抜けるでせうが自分が植えた、自分が根をおろしたものですから容易に外へ轉じないのであります。前に申



## 九 總 論

しました辛抱は抵抗に對する力のみでありました。後のは意地であります。この二つの意味に於て辛抱は解釋されると思ひます。まア要するに堅忍持久もそんな事で養はれて居るのではないかと思ひます。勿論誤解なさらぬやうにして戴きたいのでありますが、子供の事を論ずる時には、私共大人に適用されて居ります言葉を使ひます爲にその大さ強さが大變見當違ひを生ずる危険があります。辛抱と言ひ、抵抗と言ひ、意地と言ひ、子供に非常に弱い微なものであります。蟲眼鏡で見つけてやつと見つかるとやうな微なものであります、是を大人の標準でやりましたら子供自身は潰れて壓されて死んでしまふのでありますから、氣をつけなければならぬけれど、私は多少さう云ふ方面が加へられて來なければならぬかと思ふのであります。

堅忍持久のお話をこの前に續けてこゝ迄持つて參りました。其處で大體三つの事を標準としてのお話は終つた次第であります。其處でこの三つの事に就て申上げた程順序を追つたお話ではありませんが、時局的反省さ云ふ意味からして考へられて來る附録と申しませうか、附録だからと言つてつまらぬものだ云ふ譯ではありませぬが、三つを本論とすればそれに附加へられるものが幾つかあらうと思ひます。それを拾つて簡單に申述べて置きたいと思ひます。

その…餘論でも申しませうか…餘論第一は餘りに決りきつた事でありませんが、もう一度時局的反省さ云ふ上から考へて置かなければならぬ事は子供の健康問題であります。この子供を健康にしなければならぬ云ふ事は、是こそ幼稚園の本來の趣旨でありまして、幼稚園令第一條に掲げてある事であります。皆の常に心がけて居る事であつて今日何も反省する事ではないやうであります、然しさう考へてみましても今迄の日本人よりはこれからの日本人は何層倍もの健康を要する事は、是はもう非常に顯著、又重大な問題であります。今日迄も人間生活として健康の大事さは論ずる迄もありませんが、これからは實に大事なのであります。其處でその健康を増進して行きます爲に、譬へばこの講習會に於きましても榮養の問題も研究せられまして色々これから皆さんの御苦心を重ねなければならぬ處ですが、この健康さ云ふ事は幼稚園がなし得る範圍さ家庭がなし得る範圍さありますが、實に家庭の方面が六分であり七分であり八分でありまして、家庭が變つてくれぬ限り本當に子供の健康を増進するさ云ふ事は難しいのであります。是は幼稚園の先生方が子供の健康に關してその責任を解除する意味で申すのではありませぬ。其處で餘論は

二つともさう云ふ性質を持つて居るものでありますが、家庭の方へ幼稚園が働きかけて子供の健康増進の促進本部となつて行く云ふ事、是が大きな働きかと思ふのであります。私は實際問題として斯う言つて宜いかと思ふ、今日の幼稚園は、幼稚園の中で子供の健康を増進しようと思つて居る、その努め方もまだくゞ足りないでありませうが、家庭の方へ働きかけてこの問題を促進して行く努力に於ては實に少い、實に足りないと思し得るかと思ふのであります。子供の性格の問題、性質の問題、或は智能の問題、この方も亦、幼稚園が家庭の方へ働きかけて行く任務を持つて居りますが、然もこの方は健康の問題よりも一段難しい問題でありまして、それよりも容易しい健康の問題に就きまして個々別々に家庭へ幼稚園が働きかけて行く必要があると思ふのであります。

藤本先生の御指導に依りましてこれから幼稚園給食の施設を新にお始めになる處があらうかと思ひます。今迄も既になさつて居つた處もありませう。寔に結構な事で、藤本先生もさう言つていらつしやいました、一つの園でもさう云ふ事が行はれましたならば非常に嬉しい事である、斯う仰しやつて居られました、私は先生と話をして居りましたが學校給食と言ひ、幼稚園給食と言ひますものは親の榮養智識榮養センスを増進しない限りその意義は半分も達

せられて居ないのであります。若しも幼稚園で榮養を食はしてくれるのだからそつちの事は幼稚園の方へ頼んでおいて『お前お晝は幼稚園の榮養食だらう、だからうちではお茶漬を食べておいで』晩になるに『今日はお晝は榮養食だらう、だから晩はお芋で宜い』斯う云ふ事になつたらば非常に是は飛んでもない事になるのであります。元來幼稚園に云ふものは家庭教育を補ふ云ふあの言葉に於て、幼稚園の存在は家庭教育を教育する處であります。殊に榮養に關しては其處を充分に考へられなければならぬと思ふ。是も藤本先生とお話した事でありまして、本園に於ては百何人の幼児に晝は斯う云ふものを食はして居る云ふ事は、是は言つてみれば餘程妙な事なのであります。榮養は：：是は藤本先生の校閲を得て居りますから安心して申して居りますが：：榮養は全然個人的のものでありまして、その榮養が同一的なものですうッゞ行くなつて事は社會事業なら別として幼稚園では出来るものではありませぬ。實際に個人々々の御馳走を作る事は出来ませぬ。貴君はピフテキ、貴君はカツレツ、貴君はフライ、貴君は茹蕪(笑聲)そんな譯には行かない。そんな譯には行かないけれ共、お子さんを預つて一齊的に是を扱つた時にその子供さんには適しいものが出来て来る云ふ事がある。然も精神的の方面でははつきりしないのであります、今の榮養、カロリー、

目方で量れるものは幼稚園で皆さんに仕方なく斯う云ふものを差上げて居るのであるが、斯う云ふ栄養に基いて適當に處置して上げて戴きたい云ふ事が、幼稚園から家庭に到達されて差支へないものと思ふ。當然の事と思ふのであります。折角先生からお貰ひになりました獻立表をお持ち歸りになりました、この獻立表に基いて何週目何日お辨當を検査した處、貴君のは違ふじやないか云ふやうな事を仰しやらないやうにして、めい／＼の家庭の智識センスを促すべきだと思ふ。約めて言へば幼兒の栄養問題は非常にこれから必要であります、今更幼稚園で幼兒の健康問題はこればかりも残つて居りませぬ。わざ／＼子供を日蔭に置いて日光にあてないやうにする方もありますまい、わざ／＼黴菌を幼稚園に貯めて置いてそれを子供に食べさせる方はありますまい。こんな事は申す迄もありません。唯その根本の栄養問題に就て家庭の方へ働きかける事でありませぬ。然らば幼稚園に於ては何が問題であるか、話は當り前の處から實に當り前の處へ押しして參りますが、私は茲の處で當り前過ぎてお話するのも恥しい事ではありますが、幼兒健康の爲に保姆諸君の健康を第一要件としたい、斯う云ふ問題であります。

保姆諸君の健康は保姆諸君の任務をお果しになる爲に必要である事は云ふ迄もありませんが、私はあの毎日信賴

して親んでお傍についてお母ちゃんの顔よりも餘計眺めて居る：：お母ちゃんの顔は燈がつかないで餘り見ないが、明るい内は先生の顔丈け見て居るあのお顔：：適切に言へはそのお顔、そのお顔でありますよ。(笑聲)このお顔が健康であるかさうか云ふ事は子供に非常に影響を與へるものであります。私は決して消極的意味に於ける、保姆が結核を持つて居るさ子供に結核がうつるから、保姆がコレラださ子供にコレラがうつるから云ふやうな、さう云ふその方面を申して居るのではありませぬ。毎日お目にかゝる保姆さんがお丈夫であるか、さうか云ふ事は：：健康色云ふのか、健康美云ふのか、兎に角全體の何から何まで健康が溢れて居るか、さうか云ふ事は：：子供の健康増進の大きな問題であります。大學教授はさうでなくとも宜いかも知れませぬ。藝術の學校に於てはさうでなくとも宜いかも知れませぬ。けれ共、幼稚園の處ではそれが根本でありますので保姆自身の健康を特に言ひたい處であります。輿論の第一は平凡な處で終つて置きます。

## 十 餘 論 二

餘論第二の問題は全く別の事になりました是は愈々時局に即しての問題になります、今日の時局は改めて申上げる迄もない如く、國が金の要る時なのであります。

す。矢鱈に金の要る時なのであります。あの澤山の戦費を補つて行かなければならない金の要る時期なのであります。この金の要る時期云ふ事からしまして日本の到る處に節約を要求せられて居るのであります。其處でこの幼稚園に於ては……この國策線に沿つて云申しますか……云ふ節約が出来らうか、云う云ふ節約が出来らうか、この問題であります。但し私はこの問題を茲に掲げ乍ら教育そのものにつきましては出来る限り存分な事が子供にしてやりたい、いざとなれば別問題でありますが、幸ひなる哉、今日の實狀に即しまして出来るだけ存分な事をしてやりたい、殊に遠慮なく申しますれば平生から幼児の教育の爲の消耗費も材料費も決して充分に使はれて居ることは言へない。我が國の今日の幼稚園の實狀を經濟問題から離れて見ますならば、實に材料を使ひ惜みして居るのであります。材料を充分に使ふ事なくして子供の生活活動を豊富ならしめて行く事は幼稚園として難しい事でありませぬ。教育として出来るだけ一ぱいの事がしたい云ふの、現狀がそんなである云ふ事と合せまして、是以上幼稚園がさう節約して行くか、うつかりそんな事は言へませぬ。國策線上に沿つてこれからは晝も書かせませぬ。手技材料も提供しませぬ。遊戯も歌を唄ふだけ、その遊戯も床の傷まないやうに靜にする。斯う云ふ事になります事を恐

れるのであります。皆様へ云ふのではないが、日本全體の幼稚園を見るに、何かの理由に依つてそんな方針を執つて居るのではないかと思はれる幼稚園もあるのであります。『何しても材料がかゝりますので……』自分の保育の不完全をぬけ……云言つて居るのであります。例へば今度及川講師から云はれました廢物手技政策であります。煙草の空を用ひるさか色々古いものを用ひる、斯う云ふ事に依りまして其處にまだ工夫の餘地があるかと思ひます。思ひますが、私は日本の幼稚園に節約をお奨めしたいし、或る幼稚園にはうつかり節約をお奨めするごきんな事になるかと思はれますのでこれだけに致しますが、唯今最近の統計を持つて居りませぬが昭和九年の統計に依りますと、日本の幼稚園の幼児数は十四萬三千四百六十九人でありませぬ。昭和十三年に於きましてはもつと殖えて居る事と思ひます。この十四萬三千四百六十九人云ふ幼児が……私が下手な數學を出して計算してみました……一週間に一錢、幼兒の爲に親が貯金するに致します。幼兒が貯金すると言つたつて出来ませぬから親がする、月曜貯金さか、貯金ですから金曜貯金が宜いかも知れませぬ。一週間に一錢づつ貯金致しますと一年間に七萬一千七百三十四圓五十錢になるのであります。この七萬一千七百三十四圓五十錢云ふものは一週間に一錢、親の用意から何か節約して貯金した大

きな量であります。若しも是を一日に一錢づゝ貯金して来るに非常に大きくなつて五十二萬二千六百六十一圓八十五錢になるのであります。其處でこの五十二萬二千六百六十一圓八十五錢、是は非常に大きな意義を持つ金だと思ふのであります。

是は幼稚園の話ではありませんが、政府は斯う云ふ統計を私共に示して居るのであります。一日にマツチを三本づゝ節約する。煙草を吸ふ人はほんくゝ使ひます。中には耳をかいて居る人もありますが、ほんくゝ捨てます。その三本づゝを節約致しますと一年間に七百六十六億五千萬本残るのであります。是は日本の人口を六千萬としてあります。この七百六十六億五千萬本を七十五本入の小さい箱に入れますと十億箱以上になるのであります。今日マツチは幾ら致しますか、最近に於きまして値段はずつと騰りました。私は始終貰つてばかり居りますので、よく知りませぬが、一錢五厘か二錢になつて居るのではないか、若し一錢五厘として勘定してみても七百五十萬圓になるのであります。この明細なる計算、さうした大きな數量の出て來ます處を元にして幼児一日貯金を計算してみたのであります。若しも私に信用がありまして……云ふのはお前がそんな事をしてくすねるのではないか云ふ疑ひの意味でありますが……日本全國の方に御同意を得て是丈けの處置を

執つたまするならば、私は一週貯金ならば七萬圓、毎日貯金ならば五十二萬圓の貯金を日本幼稚園の名に於て獻する事が出来るのであります。或は茲にお集り下さいました方々丈けの御賛同に依りまして、幼児を云ふそれぞれ子供をお持ちになつて居る方でありまして(笑聲)さう云ふ幼児丈けでも相當なものになると思ひますが、私はさう云ふ信用があるとは思つて居りませぬから直ぐお預りしようとも思つて居りませぬ。唯さう云ふ事も知つて置いて宜い事だと思ひます。

私は家庭に於て月曜一錢貯金は何んでもないと思ひます。或は毎日一錢貯金も大した問題ではなからうかと思ふのであります。念の爲に私は保姆さんの數で同じ事を勘定してみました。大人の方の少し大高の方で考へてみました。政府の統計に斯う云ふ事が出て居るのであります。一人が木綿の浴衣を一着づゝ節約すれば六千萬の日本人に於きまして三千萬圓の節約が出来るのであります。然も木綿の浴衣一反を五十錢に見積つてあります。餘程涼しい浴衣だと思ひます。(笑聲)その涼しいのでも三千萬圓、是はマツチよりも大高の話でありますが、この論法を借りて來て日本の保姆さんが何人おいでになるか云ふに、是も昭和九年の統計で五千八百七十二人いらつしやる。其處でその五千八百七十二人の保姆さんが……幼児と同じでは寔に

相済みませぬ、一日百圓位で宜いかと思ひますが(笑聲)計算が面倒になりますから一日一錢にして下さい……一日一

錢貯金して下さい、一日一錢はキャラメル幾個に當ります事か、白粉幾粉に當ります事か、私は計算して居りませぬ。(笑聲)兎に角一錢を貯金して下さい一年に二萬一千四百三十二圓八十錢なるのであります。保母さんは毎日が宜しいと思ひます。一週一度なんて云ふとお忘れになりますから、(笑聲)幼児の方は母親がするのですから安心ですが、保母さんの方は御自身なさるので心配です。毎日の方が宜しいと思ひます。さうするに二萬一千四百三十二圓八十錢、斯う云ふ計算を假に作ってみました。是は皆さんが幼稚園に云ふ立場から御指導になりましたらつゞき變つた問題も起つて来るのではないか斯う思ふのであります。幼児健康増進の大きな目的の爲に家庭に働きかけるに共に保母の健康を必要に致しました。この論法と同じ論法をもちまして、保母さんが一錢入れて見せる必要はありませんが……振つて御覽、音がするだらうなんて事はしなくとも宜い(笑聲)……保母さんの時局的質素さ云ふものは、大變にその上在意義を持つものかと思ふのであります。保母さんがその健康なしに幼児に健康を説いたつて、或は保母さんの質素さなしに幼児に家庭に節約を傳へても充分の効果を果すものではなからうかと思ふのであります。

## 十一 餘論 (三)

餘論の第三を申上げて終る事に致しますが、健康に於て私は相常重さに耐へ、力を一ぱい出してみる積極體育のやうな事を説きました。リズムに合せて唯和やかに踊つて居るに云ふ以上に、ちつとは力行に云ふやうな事を加味し得るか云ふやうな事を計畫し、經濟の方は節約一點張り得る取扱つてみましたが、一方でそれ程に力み、一方でそれ程に節約して居ります時局に於て、最も力んでならぬものは、節約してならぬものは保母さんの笑顔であります。私はこの時局に於て何んもなく荒つばい、何んもなく殺伐たる、非常時的空氣に満ちて居りますこの時期に於きまして、一切の事これに添ふて子供を連れて行きますと同時に、この時こそ保母さんの笑顔も非常に必要な時だに痛感するのであります。『非常時だ、笑ふか。前には餘程笑つたが節約する。』(笑聲)斯う云ふ事は許されないのであります。私は家庭のお母さんに頻りに是を説いて居るのであります。そおッミ笑つてやつて下さい、若し晝間笑つてお咎めがあるならば夜そおッミ笑つてやつて下さい。茲が唯時局に添へば宜い云ふ丈け以上に幼児を託されたる者として、幼児を預つて居る者としての心やりであります。

私は、出征者を送つた話、或は戦地のニュースを聴いて、

それを子供に話してやるに云ふ事もぐんぐんさらなければならぬ事ですが、一方にはそおっこにこやかに：：勿論それを取違へて、『へん、さうでね、激しい戦ひが起つてね萬歳と言つて、にこりこ笑つて』なんていふ時笑顔なんかしてはいけません。(笑聲)是は嚴肅な意味なんですから：：子供を連れて花園の周圍を歩く時、子供さ差向ひでお話し

て居る時、一層の笑顔を惜みなく貴君方の託されたる子供の心情の上に與へて貰ひたいに云ふ事を申上げるのであります。そんなことがそんな時であらうとも、保姆さんごお母さん丈は、あの幼児に微笑みを與へることを忘れないで下さい願ふのです。

是で私のお話を終る事に致します。

〔完〕

### 關東州保育會

關東州に保育會が生まれ、十一月二十三日、大連市伏見臺幼稚園に於て發會式が舉行されました。左に規約を抜萃しておきます。(編輯部)

#### 規約

- 第一條 本會ハ關東州保育會ト稱ス
- 第二條 本會ハ幼稚園保育ノ向上進歩、發達、普及ヲ圖リ保育者ノ研究修養ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ關東州内ノ保姆並保育關係者ヲ以テ組織ス
- 第四條 本會ニ入會セムトスルモノハ住所、關係幼稚園名及氏名ヲ記載シ本會ニ申込ムヘシ
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク、其ノ任期ハ二ケ年トス  
會長 一名、副會長 一名、顧問 若干名、評議員 若干名、幹事 若干名、
- 第六條 會長、副會長ハ評議員會ノ議決ニヨリ之ヲ推裁ス  
顧問ハ會長ノ推舉ニヨル
- 第七條 評議員ハ會員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム  
幹事ハ會員ノ中ヨリ會長之ヲ依囑ス  
特ニ本會ノ事業ヲ贊助スルモノヲ贊助員トシ會長之ヲ推舉ス  
役員ノ任務左ノ如シ  
會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ統理ス  
副會長ハ會長ヲ輔ケ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス  
評議員ハ本會ノ事業並豫算、決算等ノ重要ナル會務ヲ評議ス  
幹事ハ本會ノ事業計劃並實行ニ關スル事務ヲ掌リ會計及庶務ヲ分擔ス  
本會ハ第二條ノ目的ヲ達成スルため左ノ事業ヲ行フ研究會、協議會、講習會、展覽會  
其他必要ト認ムル事項  
本會ノ經費ハ會費並補助金寄附金等ヲ以テ之ニ充テ會員ノ會費ハ月額二十錢トス  
本會ハ毎年一回總會ヲ開キ本會ノ事業並會務ヲ報告ス
- 第八條 本會ハ事務所ヲ護家屯幼稚園内ニ置ク
- 第九條 本會ノ規約ヲ變更セムトスルトキハ總會ノ決議ヲ經ルヲ要ス
- 第十條 本會ハ毎年一回總會ヲ開キ本會ノ事業並會務ヲ報告ス
- 第十一條 本會ハ事務所ヲ護家屯幼稚園内ニ置ク
- 第十二條 本會ノ規約ヲ變更セムトスルトキハ總會ノ決議ヲ經ルヲ要ス